

IHE
JAPAN

Integrating
the Healthcare
Enterprise

臨床検査領域 LABO

日本IHE協会 臨床検査委員会
石井 尚実

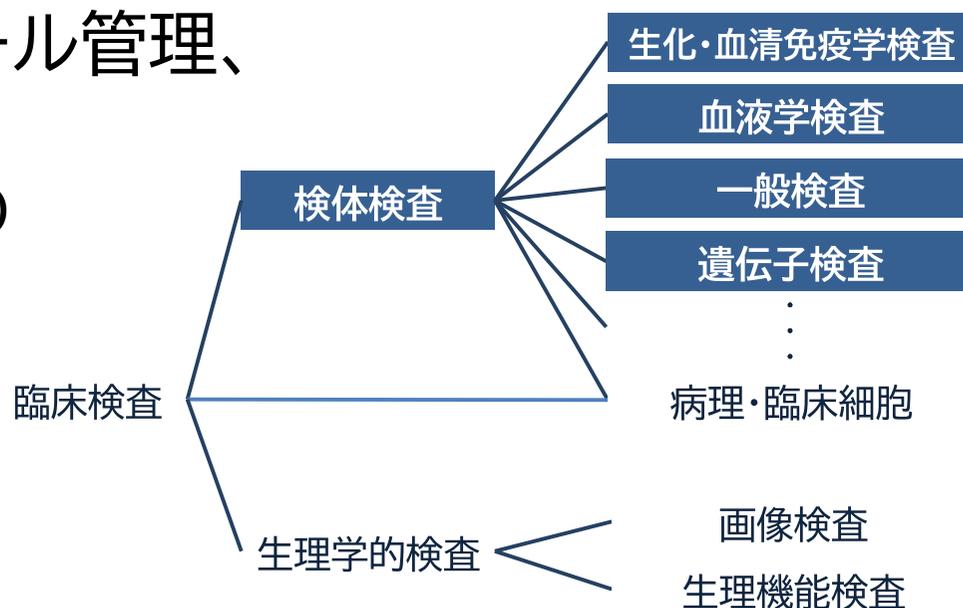
IHE 勉強会 - 医療現場におけるIHE活用例 -

臨床検査領域のIHE

● 臨床検査領域の範囲

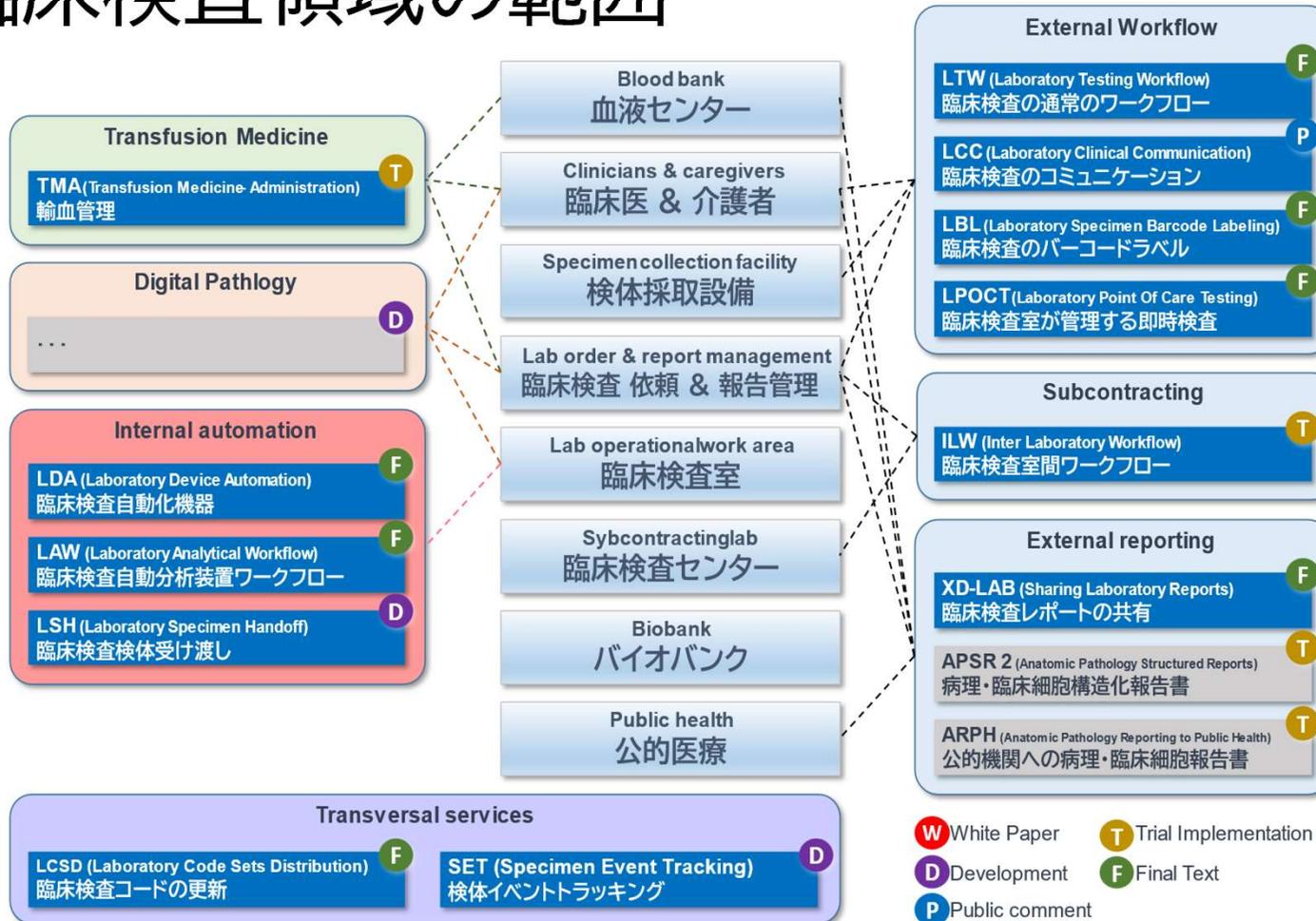
IHEの臨床検査ドメインは、患者または被験者から採取された体外試料を臨床検査室で実施する検査および臨床現場での即時検査(POCT)を対象とします。

検査オーダー、スケジュール管理、実施および報告に関するデータ構造、文書、画像の表現および交換に関するワークフローを範囲としています。



臨床検査領域のIHE

● 臨床検査領域の範囲



臨床検査領域のIHE

● 臨床検査領域の活動

IHE Internationalの臨床検査ドメインは2003年に設立され、臨床検査に関わるプロファイルとテクニカルフレームワークを管理しています。2016年にAP(Anatomic Pathology)と統合しPaLM(Pathology and Laboratory Medicine)となっています。

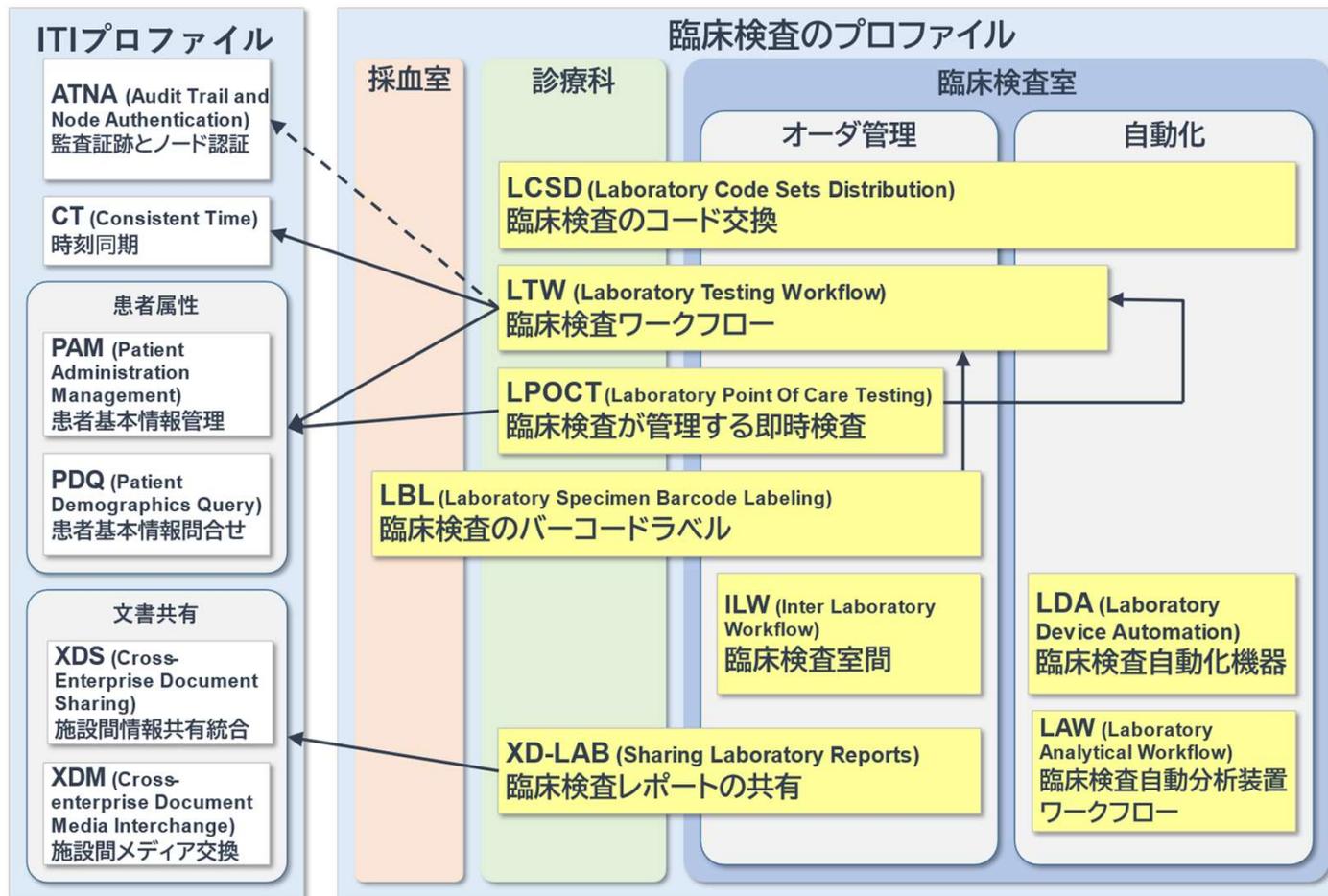
日本においても2003年にJAHIS(保険医療福祉情報システム工業会)にIHE検討ワーキンググループが組織され活動がスタートしました。

このワーキンググループが2007年IHE-Jの設立により、現在の臨床検査委員会の活動につながっています。



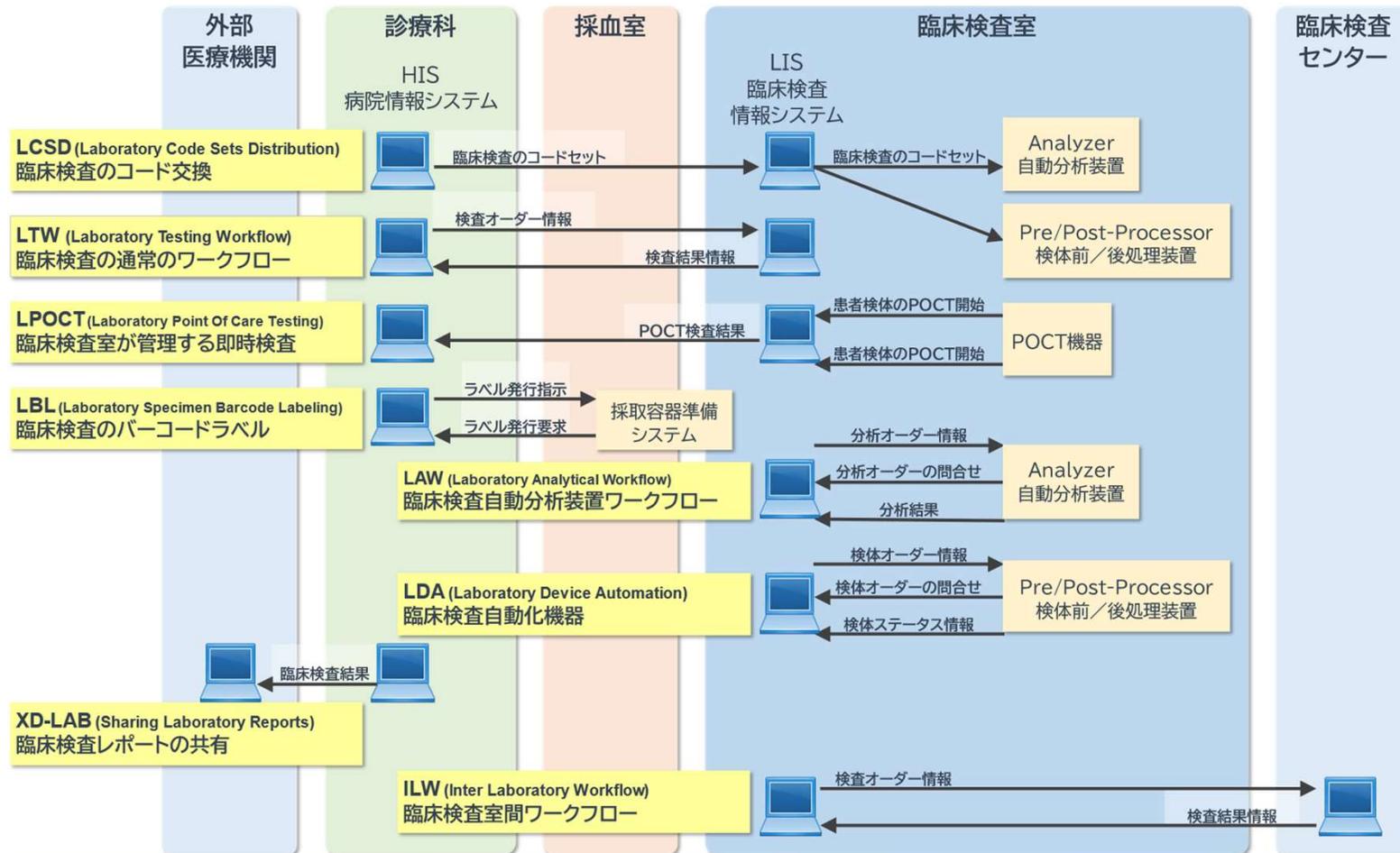
臨床検査領域のIHE

● 臨床検査のプロファイル



臨床検査領域のIHE

● プロファイルとシステムの関係



臨床検査でのプロフィールの活用例

● 大阪医科薬科大学病院様での導入事例

病院 概要

URL: <https://www.ompu.ac.jp/>

病床数：903床(一般863床、精神40床)

病院の種類：特定機能病院、エイズ拠点病院、災害拠点病院

認定:日本医療機能評価機構 認定病院

臨床検査室認定機関 ISO15189

中央検査部 概要

医師 5名 臨床検査技師 65名

看護師 3名 事務 4名

検査室:検査情報受付室、中央採血室

管理室、検体検査室、微生物検査室

生理機能検査室、中央採血室

導入・更新

2012年新規導入→2018年更新

IHE to IHEでの更新



臨床検査でのプロフィールの活用例

● システム導入時の課題

- 多種インターフェースによる機器接続費用の増大
- システム更改時における膨大な作業
- カスタマイズによる不安定なシステム
(医療安全上の懸案事項)
- 医療機関ごとの独自システム・項目マスタによる
地域連携システム整備の遅れ



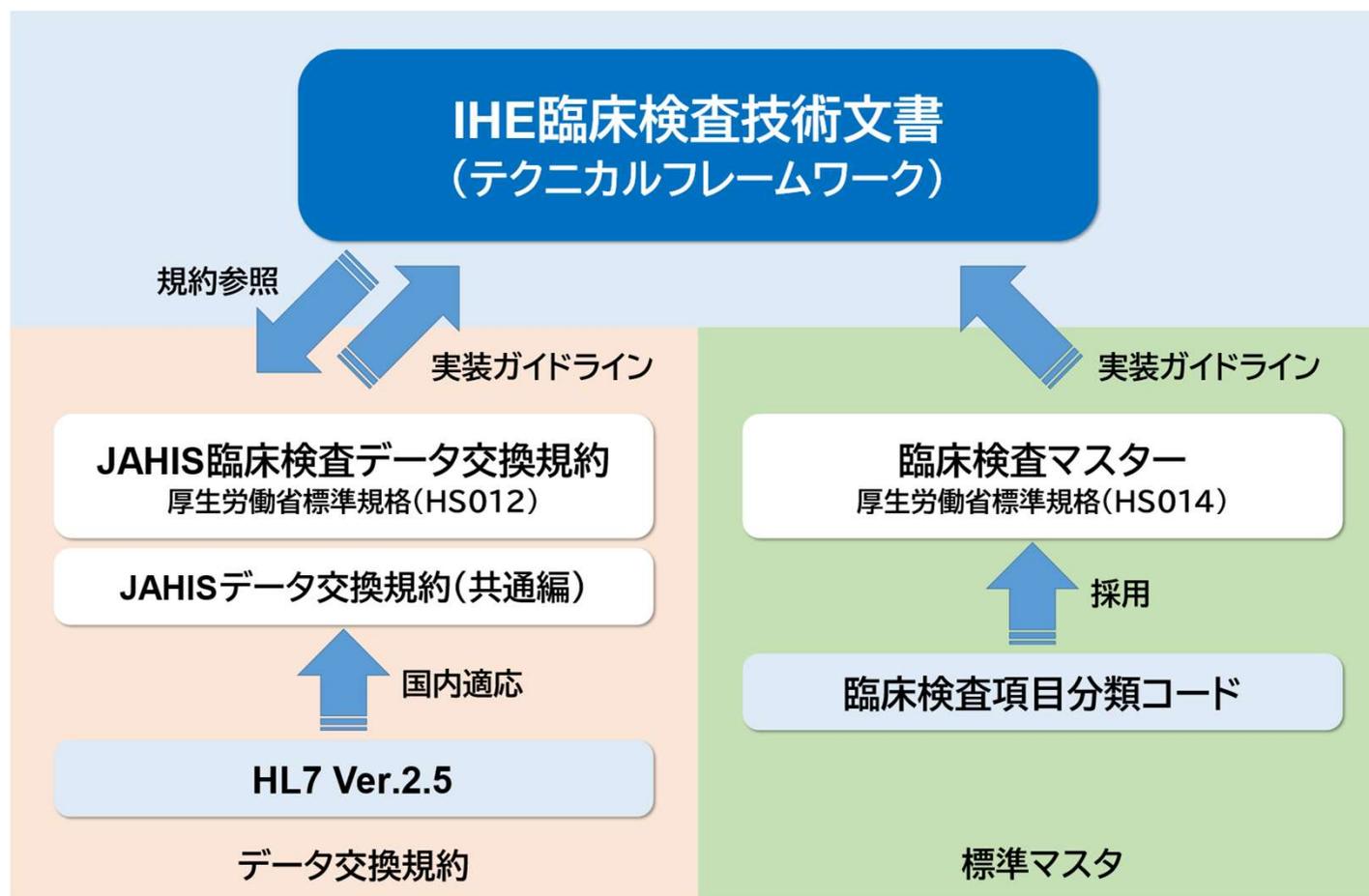
臨床検査でのプロファイルの活用例

● システム要求仕様書

A	B	C	D	E
システム要求仕様書・業務				
システム名：検体検査システム(細菌検査システムを含む)				
ベンダー名：				
		○または×		
検体、細菌システム要件		回答	必須事項	備考
1	全体基本条件			
①	担当SE・CEに依存せず組織として当院システムを開発・導入し、当システムが更新されるまで責任を持って保守を行えるよう、品質管理・保証が徹底されているシステムメーカーであること。(ISO9001の認証取得企業であること)			
②	情報セキュリティに関する第三者認証(ISO27001)を取得している企業であること。			
③	速やかに対応できる保守体制を確保し、ハードウェア・ソフトウェアに関わらず保守窓口にて一括受け付けを行うこと。		○	
④	電子カルテシステム等のシステム接続に対し <u>IHE対応S/Wを装備していること。</u>		○	
⑤	JAHIS臨床検査データ交換規約Ver3.0に対応できること。		○	
⑥	JLAC10標準検査マスタの設定に対応できること。		○	
⑦	<u>IHEの過去3年間のコネクタソンにてLTW、PAM、PDQ、LBL、LD、LPOCTのOrder Fillerとして合格していること。</u>		○	

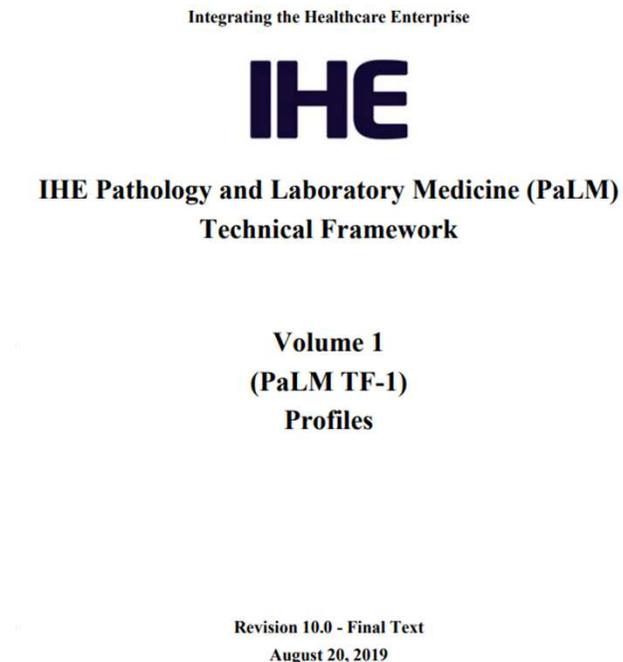
臨床検査でのプロファイルの活用例

● 標準技術と技術文書の関係



臨床検査でのプロファイルの活用例

- 臨床検査部門で導入したIHEプロファイル
 - ITIプロファイル
 - PAM(患者情報)
 - CT(時刻同期)
 - 臨床検査プロファイル
 - LTW(臨床検査)
 - LBL(採取管準備)
 - LTW-MB(細菌検査)

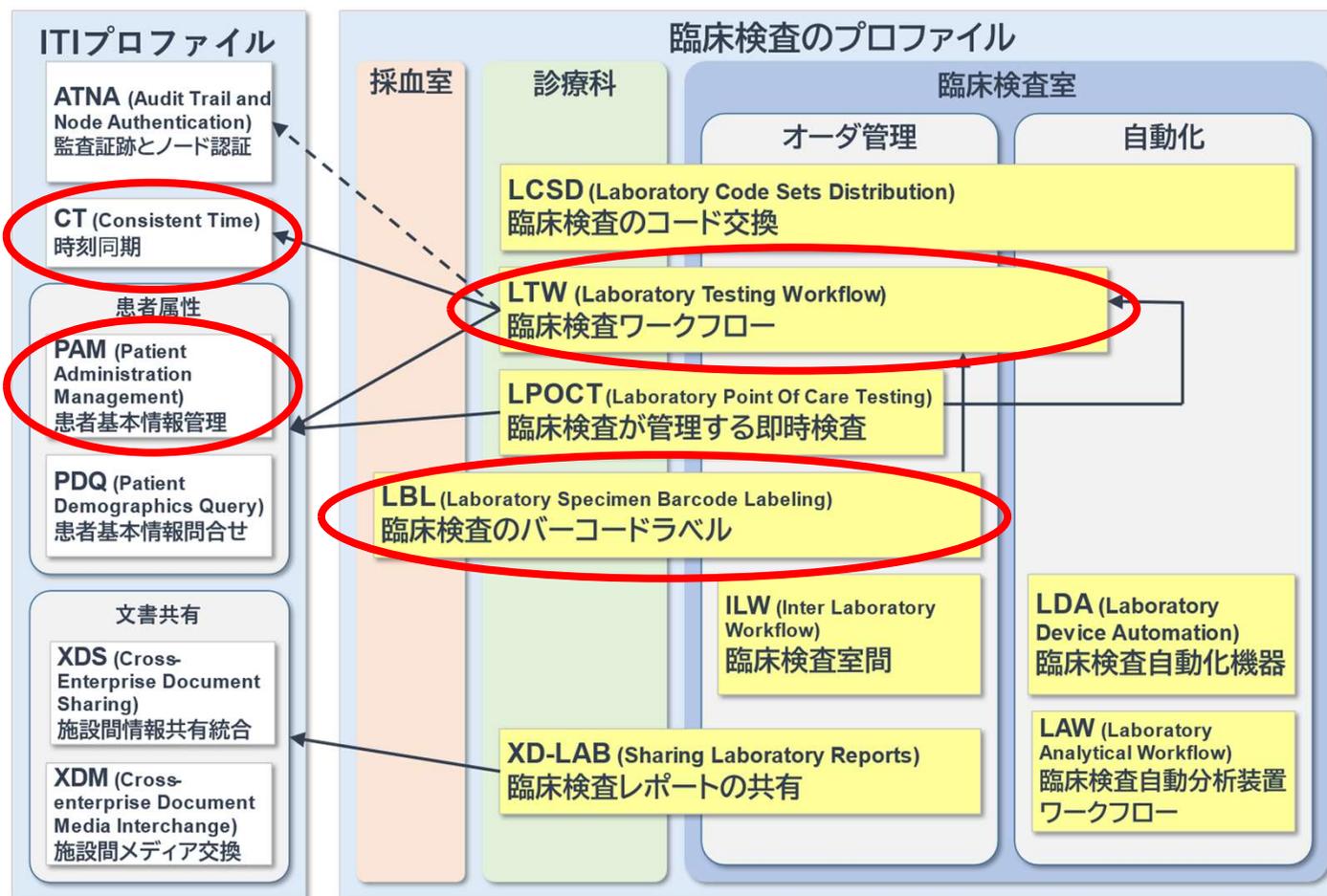


Please verify you have the most recent version of this document, which is published [here](#).

https://www.ihe.net/resources/technical_frameworks/#PaLM

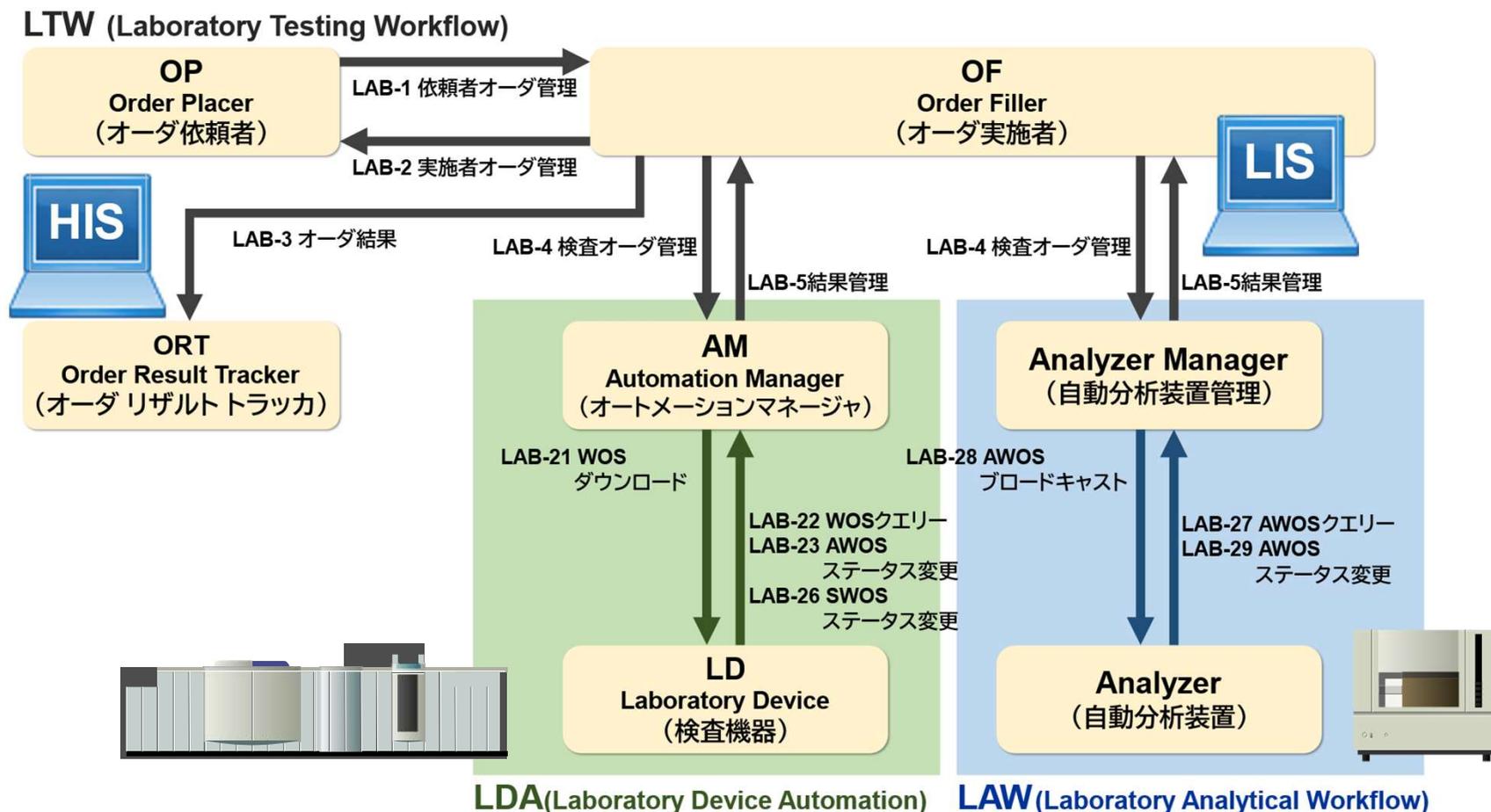
臨床検査でのプロファイルの活用例

● 臨床検査部門で導入したIHEプロファイル



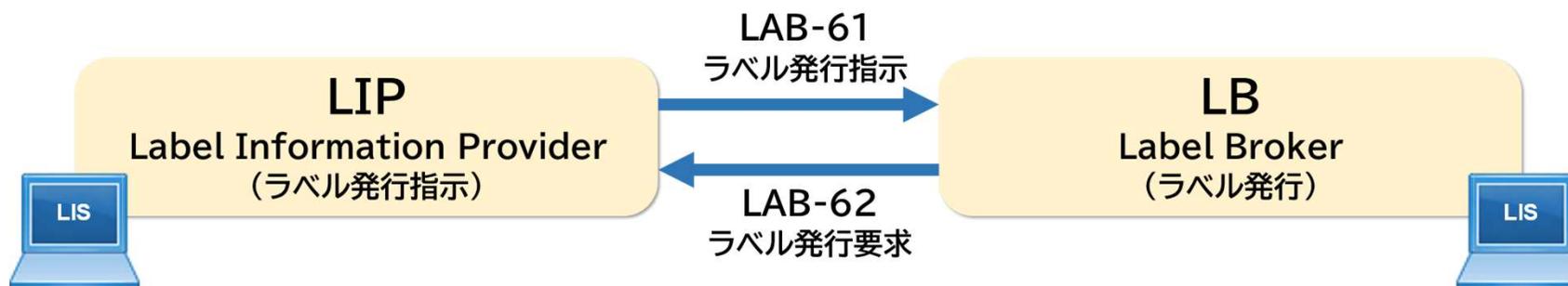
臨床検査でのプロファイルの活用例

● LTW (Laboratory Testing Workflow) プロファイル



臨床検査でのプロファイルの活用例

● LBL(Laboratory Barcode Labeling) プロファイル



アクターとトランザクションの関係

No.	採取受付	ラベル生成	ラベル発行指示(LIP)	ラベル発行 LB	トランザクション
1	HIS	HIS	HIS	採取容器 準備システム	LAB-61
2	LIS	LIS	LIS		LAB-61
3	HIS	LIS	HIS		LAB-61
4	採取容器 準備システム	HIS	HIS		LAB-62
5	採取容器 準備システム	LIS	LIS		LAB-62



臨床検査でのプロファイルの活用例

● IHEを導入してのユーザの感想

- ユーザー(臨床検査医、臨床検査技師)は詳細な知識を持つ必要はなく、基本的にはシステムベンダーにIHEの採用について要望するだけで導入可能である。
- 導入時期を逃さないことが肝心であると思われた。稼働しているシステムに途中から採用するのは難しい。LISの更改時よりHISの更改が狙い目！！
- 導入後、特に問題は起きていない。ルーチン業務の上で、現場の技師がIHEを採用していることを意識しない(ルーチン業務上は変わらない)
- IHE採用で問題のすべてが解決するわけではない！

IHE
JAPAN

Integrating
the Healthcare
Enterprise

ご参加ありがとうございました。

ご質問は、
日本IHE協会ホームページ または、
アンケート用紙にてお願いします。